

このメールは、名刺交換させていただいたお客様に最新情報をお届けしています。
今後の配信を希望されない場合はメール下部リンクより配信停止が行えます。

こんにちは、イトーヨーギョーの廣瀬です。

夏休みに入り、元気に過ごす子どもたちを見かけるたび、
毎日の通学路や街並みが「安全に歩ける環境になっているか」を親目線で意識することが
増えました。
そんな中、令和8年6月国土交通省から「**第3次無電柱化推進計画**」が公表されました。
今回は、災害への備えに加え「通学路の安全確保」が新たに重視されるなど、
私たちの暮らしに直結する内容となっています。
本日は、本計画のポイントと、無電柱化を支える当社の製品をご紹介します。

能登半島の教訓。改めて注目される「電柱リスク」

頻発する台風や地震において、大きな課題となっているのが「電柱の倒壊」です。能登半島地震では**約3,480本**が倒壊・損傷し、道路閉塞による救助・復旧の遅れが深刻な問題となりました。



【電柱倒壊が引き起こす主なリスク】

- 停電・通信障害の長期化
- 緊急車両の通行阻害・避難経路の遮断
- 断線による感電・火災などの二次災害

災害に強い街づくりには、事前のインフラ整備によるリスク低減が不可欠です。
※出典：国土交通省「第3次無電柱化推進計画（令和8年6月策定）概要資料」より

本格始動！「第3次無電柱化推進計画」の3つのポイント

こうした背景を受け、防災力や安全性をさらに加速させるため、本計画では**今後5年間で約1,000km**の整備完了などを目指す動きに入りました。今回の計画では、私たちの暮らしに直結する以下の3つが大きな柱となっています。

1 災害時の道を守る 【道路啓開の早期化】 防災拠点や高速道路IC周辺を優先整備。台風や地震の際に「道がふさがらない」強靱なネットワークを構築。 道がふさがらず、緊急車両や支援物資車両がスムーズに通行できる	2 子どもの命を守る 【通学路の安全確保】 電柱を避けて児童が車道へはみ出す危険を解消。通学路を対象にした新たな目標値を設定し、事故リスクを低減。 広い歩道で安心して通学できる 子供たちの命を守る	3 電柱を「増やさず減らす」 【脱・電柱化の加速】 新たな電柱の原則禁止や低コストな埋設手法の活用により、日本全国でスピーディーに整備推進。 すっきりした街並みで景観が向上 災害に強いまちづくりを実現
---	---	---

無電柱化製品ラインナップのご紹介

歩道のない道路の無電柱化に 水路付小型ボックス D.D.BOX Neo 上段：側溝として使用 下段：電線類を収納 歩道のない道路の無電柱化に水路付小型ボックス 詳細はこちら	歩道のある道路の無電柱化に 集水機能付縁石＋小型トラフ D.D.BOX Pleon 上段：側溝として使用 下段：電線類を収納 路面集水機能向上 自転車通行空間整備 歩道のある道路の無電柱化に集水機能付縁石＋小型トラフ 詳細はこちら	狭小空間対応 小型ボックス S.D.BOX 埋設型 露出型 狭小空間対応小型ボックス 詳細はこちら
--	---	---

無電柱化は、防災・減災はもちろん、子どもたちの安全な通学路づくりにも欠かせない社会インフラです。イトーヨーギョーは、優れた施工性と省スペース化を両立する製品を通じて、安心・安全なまちづくりに貢献してまいります。導入のご相談など、お気軽にお声がけください。

最後までご覧いただきありがとうございます。
お問合せはこちらから

お手数をお掛けしますが
配信停止はこちらから
ご愛読ありがとうございました！

※上記をクリックいただいても配信停止ができない方は
こちらのメールに直接“配信停止”とご返信ください。

◆発行元◆
株式会社イトーヨーギョー 営業企画室
〒531-0071 大阪市北区中津6丁目3-14
TEL：06-6455-2503
<https://itoyogyo.co.jp/>

イトーヨーギョー-Instagramはじめました！



社員紹介や社内の雰囲気
展示会や出張展示会、
各種イベント、製品に関して
更新していきます！



<https://www.instagram.com/itoyogyo/>